



長崎市立矢上小学校 学校だより 『笑顔が花咲く矢上小』

合い言葉「安全安心で楽しい学校」

もっと！よく学び よく遊べ」

令和7年7月2日

NO. 19

校長 白水 聡

地域の「ひと・もの・こと」に学ぶ



6月27日（金）には、社会科見学で4年生が東工場見学に行きました。左の写真のように、ごみピットの中の様子を見せてもらったり、工場の方の説明を聞いたりして、ごみが処理されるまでの過程を学んでいます。

ある子は「ガラスや針のような尖った危険なものを捨てるときは、運ぶ人が手をケガしないように考えて捨てないといけないと思いました。」と話していました。工場の方の声を直接聞いたことで、改めて、強く実感したのだと思いました。

同じ日に3年生は、かまぼこ工場見学に行きました。昨年に引き続き「長崎一番」の方にお世話になりました。

右の写真は、子供たちの質問に答えてくださっている様子です。次から次に子供たちは挙手をしており、時間が足りないようでした。かまぼこができるまでのことについて、多くのことを知りました。これから、見学でわかったことやさらなる疑問をまとめていくことでしょう。



同じ日に二つの学年が別々の場所で社会科見学をさせていただきました。暑い中、目的地まで歩くのも大変だったことですが、よい天気で何よりでした。

地域の「ひと・もの・こと」に学ぶという経験は、きっとふるさと教育にもつながるものと思います。また、普段の学習以上に子供たちのやる気や集中力が高まり、目も輝いていました。

お世話になった地域の皆様に感謝いたします。お忙しい中、どうもありがとうございました！またよろしく願います。

児童集会



7月1日（火）の昼の時間には、「児童集会」が行われました。今回は集会委員会の皆さんが企画・運営しました。全校児童が楽しめるようにと、各学年に応じたクイズを出題しました。答えに一喜一憂する子供たちの姿が微笑ましかったです。

最後に「あっち向いてホイじゃんけん列車」をして遊びました。

司会・あいさつ・説明など、責任をもって行った委員のみなさん、ありがとうございました！また次回も、楽しい集会を自分たちで作ってほしいと期待しています。